

「第1回右京区まちづくり区民会議全体会議」 摘録

1 日時 平成23年11月28日（月）午前9時30分～正午

2 場所 右京区役所5階 大会議室

3 内容

(1) 発足式

ア 会議招集（藤田区長）

- ・ 今年度から取組がスタートした「右京かがやきプラン（以下、「かがやきプラン」という）」をどのように実り多きものとしていくか、その要となる「右京区まちづくり区民会議（以下、「区民会議」という）」を、右京のまちづくりに日頃から大変な御尽力を賜っている団体の皆様のほか、土井先生をはじめとした学識者、あるいは公募で選ばれた方々など、大変多くの方々にお集まりいただき、本日、招集させていただき運びとなった。大変心強い限りである。
- ・ 立ち上げに向けては、右京のまちづくりを進めるためにどういった形の組織運営がいいのかという観点から、準備会という形で、山下幹事長以下の委員の皆様に徹底して御議論をいただいた。この場をお借りして、感謝申し上げる。
- ・ 門川市長は、日頃から縦割り行政、二重行政の弊害を訴えている。私も同じ思いであり、そうした行政の縦割りが地域を分断していると言っても過言ではない。それを打破し、オール右京で右京の未来を築いていこうとすることが、この会議の目的である。
- ・ 先日の京都市会において市長から表明があったが、来年度、京都市の予算の仕組みが大きく変わる方向である。

予算権限を大胆に区へ委譲するとともに、地域の皆様の御意見を区の予算案へ反映する仕組みづくりが検討されている。行政の発想を超えた、大胆でしなやかな御意見・御提案をいただくとともに、実行に当たっては、当事者として共に汗して推進していただけることを大いに期待している。

- ・ 皆様の活発な御意見を願います。

イ 委嘱状交付

ウ かがやきプランについて

（永橋委員）

- ・ このプランは、10年間の右京のまちづくりの方針として、昨年度策定され、今年度からその取組期間がスタートしている。
- ・ 概要版表紙の3つの将来像「豊かな自然・文化を受け継ぐまち」「楽しく歩けるまち」「支え合い助け合うまち」の実現を目指し、様々な取組を進めていくことになる。
- ・ このプランをどのように進めていくか、その答えが区民会議になる。

エ 「区民会議」について

(山下委員)

- ・ かがやきプランをどうやって進めていくか、また、区民会議をどのようなものにするのかについて、これまで、準備会という形で、3回の議論を行ってきた。
- ・ 同時に、右京区制80周年ということで、従来の枠を超えた様々な団体や企業、大学などに広く御参画いただきながら取組を進め、それぞれのつながりが広がってきた。
- ・ 今日お集まりいただいた皆様のお顔を拝見していると、本当に良いメンバーに集まっていたいただいたなど、本当に嬉しく、心強く思う。
- ・ 先日策定された「地域コミュニティ活性化推進条例」を推進するためにも、この区民会議での取組も皆様と一緒に進めたい。
- ・ 私も含め、今日から皆様お一人おひとりが「オール右京」によるまちづくりの担い手である。右京の未来に向け、「右京区民の 右京区民による 右京区民のための」まちづくりを進めるため、ともに頑張りましょう。

(永橋委員)

この区民会議には、3つの特徴がある。

(ア) 特徴1 自治連合会をはじめ、各種団体やNPO等の市民活動団体等、学校、大学、企業、行政など、多くの多様な「団体」を中心に構成されている

この会議は、計画を作るのではなく、基本計画を推進するための組織である。したがって、個人ではなく「オール右京」で、様々な人や企業など、それぞれの強みを生かして具体的な取組を企画し、できることから実行していく。いわば団体の構成メンバー全員が、この会議を通して右京のまちづくりを担っていただくため、団体を中心としている。

(イ) 特徴2 構成団体等のメンバーがそれぞれの強みを生かしてプロジェクトを推進していく

まずは5つのプロジェクトが設置されるが、今後、必要に応じて新たなプロジェクトを立ち上げる可能性もある。これらのプロジェクトに基づいて、個別具体的な取組を展開していくが、本日は、それら取組内容について、実際に皆様に御検討いただく予定である。

(ウ) 特徴3 区役所と地域のNPO（市民活動団体）とがスクラムを組んで会議を運営する

資料の「運営パートナー」とは、事務局運営についても、行政だけではなく、地域のNPOと一緒にやっていこうというものである。

オ 運営パートナー紹介

(永橋委員)

行政だけでなく、右京の皆さんのお力も借りながら区民会議を進めたい。今回の準備もしてもらった「子育ては親育て・みのりのもり劇場」の伊豆田理事長及び「フ

ロンティア協会」の徳丸代表理事を紹介。

カ 今後のスケジュールについて

人数が多い会議を頻繁に開催するのは難しいため、次回は3月に開き、来年度は3回を予定している。

今回は、どのような新しいことができるのかという思いやアイデアを共有し、今年度中に着手できることはしていきたい。

個別の取組については、事務局又は運営パートナーが案内するので、時間の許す限り、御自身の思いを実現する場として活用してほしい。皆さんのお力を合わせてまちを作っていきたい。

キ 座長、副座長の選出

(ア) 右京区まちづくり区民会議設置要綱第4条第2項に基づき、委員の互選により座長を土井委員に決定

(土井座長)

仕事で東日本大震災の被災地に行って話を聞き、地域コミュニティは普段の活動もそうだが、震災など何かあった時に有効であり、人のつながりが大事であると感じた。区民会議は人とのつながりの場、何かあった時に支え合える右京を作り上げたい。

(イ) 座長からの指名により、副座長を山下委員に決定

ク 代表幹事会の指名

土井座長から区民会議準備会委員を代表幹事会委員に指名

(2) 「右京の未来は任せろ！」ワークショップ

ア グループワークの進め方について

イ グループワーク

(ア) お互いの活動について理解を深める ～協力、連携できるかも～

(イ) 区民会議でできること、してみたいこと ～まず取り組んでいくこと～

内容については、別紙「グループワーク 「区民会議でできること、してみたいこと ～まず取り組んでいくこと～」テーマ別アイデア一覧」参照

ウ 土井座長から総評

会議の短い時間中に、今後10年間で取り組む内容を考えるのは難しいが、本日は、委員で課題の認識を共有できた。

グループワークでは、テーマに限らず、担い手の問題（どうやって多くの人、若い人、定年退職後の人を巻き込んでいくのか）が共通していた。

この会議では、大きいテーマについても検討し、実現に向け取り組んでいくことになるが、すぐにできることがある。それは、この内容を家族・出会った人に話すことである。話すことで、活動が広がり、聞いた人が将来の担い手になってもらえかもしれない。